

令和七年四月二日(水)午後六時開場・六時半開演

入場  
無料

第十二回 岐阜祭奉焚貝

会場 伊奈波神社参集殿 稲葉座

※当日会場には駐車場はございません

岐阜まち歌舞伎

素囃子 御祝儀 長唄素囃子  
志賀山三番叟

【出演】岐阜町若旦那会

舞踊 長唄  
藤娘

【出演】立方 鳳川伎連

囃子 岐阜町お囃子教室

歌舞伎 神懸譽相槌

【出演】岐阜町若旦那会

三條小鍛冶宗近 恵比寿包之丞

助役 橋道成 湊屋明徳

福丸屋主人 弘兵衛 福丸屋太伊之介

宗近下女 若菜 山笠屋焚左衛門

童子 雲八 福壽明神 亀甲屋隆之進

江戸時代の伊奈波の歌舞伎興行や岐阜祭の子供歌舞伎を源流に、戦前の賓客の目には町衆による「にわか芝居」や三味線・囃子の「流し」が夜明けまで演じられました。岐阜町を彩ったそんな風情を少しでも感じられたら……それが「まち歌舞伎」の思いです。

主催…岐阜町若旦那会

共催…岐阜歌舞伎保存会

指導振付…二世 尾上幸松

(鳳川伎連 喜久次)



# 演目 神懸誉相槌

かみかけてほまれのあいづち

〈あらすじ〉

皆さん、夢はみますか。良い夢、悪い夢、そして正夢。老若男女、みな一様に見ますね。今回は天皇様が夢のお告げを受けたお話。

お能の「小鍛冶」を題材に歌舞伎化された作品を上演いたします。登場人物の名工三条小鍛冶宗近は実在の人物です。

平安時代、一条天皇が不思議な夢のお告げを受けました。それは「刀鍛冶の名人、三条小鍛冶宗近に剣を打たせよ」というものです。天皇は早速、宗近に剣を鍛えるよう勅命を下しました。突然の勅命に宗近は驚くが、天皇の命令では断るわけにもいきません。しかし、名工とはいえ、立派な剣を鍛えるには自分と同じ力で

槌を振るう相棒が必要でした。ところが宗近にはその相棒がいまません。一人では剣を作れないと悩んだ宗近は、氏神である稲荷明神に助けを求めて神社にお参りします。

神社で祈りを捧げていると、不思議な少年が現れ、少年は昔の名剣にまつわる物語を語り、宗近を励まし、自分が協力しようとする。ふつと姿を消しました。どこからともなく狐の霊が現れました。それは稲荷明神が狐の姿をとって現れたものです。稲荷明神は「私が相槌を務めましょう」と告げ、宗近と一緒に剣を鍛え始めました。神の加護を得た宗近は、見事に剣を鍛え上げ名刀「小狐丸」が誕生致します。



## 【岐阜町若旦那会】

ぎふまちわかだんなかい

岐阜町は現在の金華京町地区。信長・道三の時代に商工業で栄え、江戸から明治大正の時代まで岐阜の中心でした。芝居小屋や役所、各問屋、花街などが集まっていた地域でもあります。

岐阜町若旦那会は商店や寺院の後継ぎ世代が集い2010年に設立。人が訪れたくなる町、住みたいと思う町をめざし、「岐阜まち歌舞伎」の開催など、岐阜町の魅力を発掘・発信しています。



## 華に舞台に 若旦那街に

伊奈波神社で岐阜まち歌舞伎  
商店跡取りら熱演  
岐阜新聞 2024年4月6日 掲載

【協賛受付】  
二〇二二年から続く岐阜まち歌舞伎も、今年で十二回目を迎えることとなりました。これもひとえに皆様温かいご支援と開催運営資金のご協力のおかげです。  
引き続きのお心添えとご協力をお願いしたく、ここにご案内させていただきます。



〈出演者〉 ※太字は役者出演

山本慎一郎（山本佐太郎商店）、金森正親（伊奈波商會）、蒲勇介（ORGAN）、松枝秀乗（善光寺安乗院）、田代達生（カンダまちおこし）、山田知幸（湯葉勇商店）、古田浩紹（エビス）、市川智己（市川華典）、伊藤豊邦（十八楼）、大平雅章（米角大平米穀店）、川島徹郎（麴兵）、高橋秀太（高橋製瓦）、寺澤隆浩（亀甲屋本舗）、藤居進一（藤井佛壇）、牧野浩之（長崎屋総本舗）、矢島明（YAJIMA COFFEE）、橋爪大（岐阜市議会議員）、根崎怜司（アグセンチュア）、織大起（tutime）、多田陸人（岐阜大学）、杉江陽輔（岐南町伏屋獅子舞保存会）〈特別出演〉山岡明德（ホテルパーク）、安田尚央（壱となれ山となれ）、森弘明（薄皮たい焼き福丸）

【お問合せ先】 岐阜町若旦那会 担当: 川島 090-7300-3863